

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 生駒市社会福祉協議会

目 次

1	社会福祉協議会の基盤整備	・・・	1
2	地域福祉活動の推進	・・・	3
3	権利擁護活動の推進	・・・	11
4	ボランティア活動の推進	・・・	14
5	生活福祉資金等を活用した自立支援	・・・	15
6	災害時に向けた取組み	・・・	16
7	生活困窮者自立相談支援事業の実施	・・・	17
8	福祉センターの円滑な管理及び運営	・・・	19
9	地域包括支援センターの運営及び包括的支援事業の推進	・・・	24
10	デイサービスセンター幸楽の円滑な管理及び運営	・・・	26
11	交通遺児奨学金の支給	・・・	30

事業報告

令和4年度も、長引くコロナ禍による、経済状況の悪化から生活困窮状態の継続、地域活動の停滞、社会的孤立など様々な地域課題の顕在化がさらに進みました。

人との接触を減らす、距離を開けるなどの感染対策は、これまで人と人とのふれあいを大切に続けてこられた、地域のサロンやボランティアの活動はもちろん、当社会福祉協議会の事業運営にも大きな影響を及ぼし続けています。

このような社会情勢のなか、生駒市社会福祉協議会では、地域活動の再開へ向けた支援、新たな困窮者への支援等、従来と異なる状況から課題を捉え、地域住民をはじめ、行政や関係機関・団体とともに、地域課題や生活課題の解決に向け取組を進めてきました。

当社会福祉協議会の事業運営に当たりましては、地域の皆様や団体の温かいご理解により、多大なご支援ご協力をいただきましたことを感謝申し上げますとともに、ここに事業概要及び執行状況を報告いたします。

1 社会福祉協議会の基盤整備

(1) 組織体制・財政基盤の強化

ア 理事会・評議員会の運営

当協議会を円滑に運営するため、次のとおり開催した。

会議名	開催日	場 所	主 な 内 容
決算監査	5月13日	コミュニティセンター	・ 令和3年度社会福祉法人生駒市社会福祉協議会事業報告及び計算書類の監査
理 事 会	5月26日	コミュニティセンター	・ 生駒市社会福祉協議会常務理事の選定について ・ 令和3年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について ・ 令和4年度生駒市社会福祉協議会定時評議員会の招集について
評 議 員 会	6月17日	コミュニティセンター	・ 生駒市社会福祉協議会の理事の補充選任について ・ 令和3年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について
理 事 会	12月16日	書面決議	・ 令和4年度生駒市社会福祉協議会第2回評議員会の招集について
評議員会	12月26日	書面決議	・ 生駒市社会福祉協議会の理事及び監事の補充選任について

理 事 会	3月17日	コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生駒市社会福祉協議会副会長の選定について ・ 令和4年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1回)について ・ 令和5年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について ・ 令和4年度生駒市社会福祉協議会第3回評議員会の招集について
評 議 員 会	3月24日	コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1回)について ・ 令和5年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について

イ 共同募金事業への協力

(ア) 共同募金委員会の運営

市民に分かりやすく透明性があり、参加しやすい募金運動を展開するため共同募金委員会を開催した。

開催回数 3回

(イ) 共同募金運動の推進

10月から赤い羽根共同募金運動を行い、自治会、小・中学校、生駒商工会議所を始め、市民の皆様のご理解ご協力により多額の募金をいただいた。

また、10月1日に、民生・児童委員連合会の協力を得て、市内の各駅前等で街頭募金活動を実施した。

(単位:円)

募金方法	令和4年度	令和3年度
戸別募金	5,705,120	5,861,589
街頭募金	124,113	147,013
職域募金	283,456	274,335
法人(企業)募金	654,000	681,000
学校募金	116,103	218,648
その他	316,817	231,680
合計	7,199,609	7,414,265

(ウ) 歳末たすけあい運動の実施

民生・児童委員連合会、自治会、共同募金委員会、当協議会等が一体となって「歳末たすけあい募金運動」を行い、市民の皆様の温かい善意と関係者の熱心な協力によって多額の募金をいただいた。この募金は、年末に支援を必要とする人たちへの援助や事業等、地域の福祉活動に活用した。

(単位:円)

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
募金実績額	3,904,224	3,983,798

(2) 福祉情報の提供及び広報活動の強化

ア 広報誌の発行

「社協だより・いこま」を発行して市内全戸に配布し、当協議会の事業の報告や情報提供に努めた。

- ・第120号(令和 4年 4月 1日)
- ・第121号(令和 4年 7月 1日)
- ・第122号(令和 4年10月 1日)
- ・第123号(令和 5年 1月 6日)

イ ホームページの充実

ホームページにより、当協議会に関する情報を、迅速に分かりやすく提供した。

2 地域福祉活動の推進

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域社会の実現のため、市民の参加を得て、様々な福祉ニーズの相談に応じるとともに、きめ細かな福祉サービスを組織的かつ総合的に推進した。

(1) 福祉総合相談体制の充実

ア 総合相談窓口の設置

相談を通じて市民のニーズを把握するとともに、当協議会の諸資源の積極的活用と専門的な相談に応じた。

(単位:件)

相談事項	令和 4 年度		令和 3 年度	
	件数	他機関紹介	件数	他機関紹介
生計	1	1	1	1
家族関係	3	0	9	1
健康・医療	2	1	2	1
財産	0	0	0	0
教育・青少年問題	0	0	0	0
障がい者福祉	1	1	0	0
高齢者福祉	5	3	32	14

児童福祉	0	0	0	0
人権・法律	1	0	5	0
近隣問題	4	2	3	1
その他	154	3	19	5
合 計	171	11	71	23

イ 心配ごと相談の運営

民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、毎月第1木曜日（祝日を除く。）に各種の相談に応じた。

（単位：件）

相談事項	令和4年度		令和3年度	
	件数	他機関紹介	件数	他機関紹介
生 計	0	0	0	0
家族関係	1	0	2	1
健康・医療	1	1	1	1
財 産	0	0	0	0
教育・青少年問題	0	0	0	0
障がい者福祉	1	1	0	0
高齢者福祉	0	0	1	1
児童福祉	0	0	0	0
人権・法律	0	0	0	0
近隣問題	0	0	2	2
その他	1	0	1	0
合 計	4	2	7	5

（2）ふれあい・いきいきサロン推進事業

現在開設中の各サロンに民間助成金等に関する情報提供を行った。

（3）高齢者支援事業

ア 友愛電話訪問事業

（ア） 電話訪問

ひとり暮らし高齢者の孤独感を解消することを目的に、訪問ボランティアの協力により、月曜日から金曜日（祝日を除く。）に電話による訪問を実施した。

区 分	令和4年度	令和3年度
対 象 者	26人 （男性7人・女性19人）	30人 （男性5人・女性25人）

実施日数	243 日	244 日
電話訪問回数	768 回	824 回
ボランティア	13 人	13 人

(イ) 交流会

友愛電話の利用者とボランティアが親睦を深めるため、交流会を開催した。

実施日 11月14日
 場 所 コミュニティセンター
 参加者 友愛電話利用者8名 訪問スタッフ9名

(ウ) ボランティア研修会

友愛電話訪問のボランティアを対象に研修会を開催した。

実施日 2月9日
 場 所 コミュニティセンター
 内 容 「自律神経を整えて血流改善」
 ヤクルト健康教室 講師 樋口善輝氏
 参加者 9名

イ 介護家族支援事業（家族介護教室）

介護の方法や介護されている方の健康づくりなどについて、専門家から学ぶ教室を、過密を避けるため募集を縮小して、デイサービスセンター幸楽で開催した。

開催日	内 容	講 師	人数(人)
9月10日	介護者のストレス軽減 免疫力アップのアロマの紹介	日本エンジェルセラピア協会 理事長 浦野 典子氏	6
9月24日	免疫力アップの食事について	やすらぎの杜 延寿 管理栄養士 半田 恵美氏	6
10月8日	介助の仕方・自宅でできる運動	友誼会総合病院 技師長 徳久 謙太郎氏	4
11月5日	お薬の上手な飲み方～家族が知 っておいてほしい管理方法など～	若葉薬局 代表取締役 倉本 孝氏	4
R5 3月11日	排泄ケアの基本 それを助ける用具	(株)はいせつ総合研究所 代表 浜田 きよ子氏	10
合 計			30

ウ 認知症高齢者等見守り事業（認知症支え隊）

在宅の認知症高齢者等に対し、ボランティア（隊員）が電話連絡や同行などの外出支援等を行い、本人の社会参加や活動を継続することにより、認知能力・身体能力の低下

を防止し、在宅生活及び活動を継続した。また、事業をとおして地域住民の認知症への理解を促進した。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
登録隊員数	92 名	73 名
活動隊員数(実人数)	36 名	30 名
支援回数	796 回	412 回

エ 訪問型サービス A 従事者研修

軽度の介護保険サービス利用者の自宅において掃除等身の回りの家事をお手伝いする従事者の養成を行う研修会を実施した。

開催日	内 容	講師	参加者
9 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度と総合事業の概要と意義 ・ 高齢者の特徴と介護予防 ・ サービス提供の流れ 	社協職員	13 名
9 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活支援の基本 ・ 事例紹介 	社協職員	12 名

※ 2 日とも受講された 1 2 名に訪問型サービス A 従事者研修終了証を発行

オ 緊急時あんしんカードの配布

ひとり暮らし高齢者が緊急時に、速やかに連絡等ができるよう、各自の情報(氏名、住所、電話番号、緊急連絡先、かかりつけの病院等)を書き込んで、身近な所に常備できるカードを作成し、民生委員・児童委員を通じて配布した。

(4) 障がい者支援事業

障害者週間（12月3日～9日）キャンペーン事業

ア 「障害者週間」街頭啓発キャンペーン

障がいのある人とない人が共に支え合い、尊重し合う共生社会を推進するため、障がい者団体及び関係団体の協力を得て実施した。

実施日	11月29日
場 所	生駒駅、東生駒駅、南生駒駅
参加者	障がい者団体及び民生・児童委員連合会
啓発物	ポケットティッシュ、ポスター、のぼり

イ 「障害者週間」講演会

障がい及び障がい者に対する理解を深めるとともに、障がい者の社会参加を促進するためのイベントを開催した。

開催日 12月3日
 場 所 生駒市福祉センター
 講 師 パラリンピック車イス陸上100m銀メダリスト 大矢 勇気 氏
 演 題 私の体験そして未来
 参加者 39人

ウ 「障害者週間」ポスター展

障がいについての理解と関心を高めることを目的に、市内の小学生からポスターを募集し、応募された作品を展示した。

場 所 生駒市役所 (11月17日～11月24日)
 生駒市福祉センター (11月26日～12月7日)
 参加校 真弓小学校、生駒台小学校、あすか野小学校
 作品数 15点

(5) 福祉教育事業

ア 福祉出前講座

新型コロナウイルス感染対策として事前学習用 DVD を活用して体験の時間短縮を行い、かつクラス単位で体験学習を行った。さらに、思いやりの気持ちを育むことを目的に、受講した小・中学校の児童・生徒に対し「思いやりサポーター認定証」と「あなたのやさしさを街角で」の冊子を配布した。

また、新しい取り組みとして地域のつながりを広げるため「地域でつながる軽スポーツ(モルック)」の出前講座も行った。

開催日	対象団体	対象者	人数	内 容
4月14日	あけびデイサービス	デイ利用者	18	地域でつながる軽スポーツ
5月16日	生駒市西地区民生児童委員協議会	民生児童委員	36	車いす体験
5月24日	手話サークルハーブ	サークル会員	25	地域でつながる軽スポーツ
5月31日	俵口小学校	放課後子ども教室スタッフ	10	地域でつながる軽スポーツ
6月2日	サロン憩の家	サロン参加者	10	地域でつながる軽スポーツ
6月4日	生駒市身体障害者福祉会	会員	25	地域でつながる軽スポーツ
6月22日	老人クラブ連合会北・西地区	会員	50	地域でつながる軽スポーツ
6月29日	はな保育園	4・5歳児	56	アイマスク体験
6月29日	はな保育園	4・5歳児	56	手話体験
7月7日	老人クラブ連合会南・東地区	会員	60	地域でつながる軽スポーツ
8月26日	もり保育園	4歳児	26	アイマスク体験
8月30日	もり保育園	5歳児	27	車いす体験
8月31日	もり保育園	3歳児	26	手話体験
9月1日	いこま寿大学ハイキング6K	学生	40	手話体験
9月2日	あすか野小学校	放課後子ども教室スタッフ	3	地域でつながる軽スポーツ

9月6日	壱分小学校	5年生	137	車いす体験
9月9日	ひがし保育園	4・5歳児	79	手話体験
9月15日	やすらぎの杜優楽	デイ利用者	40	地域でつながる軽スポーツ
9月20日	生駒小学校	4年生	108	点字体験
9月28日	あすか野小学校	4年生	169	手話体験
9月29日				
9月30日	桜ヶ丘小学校	5年生	106	車いす体験
10月5日	生駒小学校	4年生	108	手話体験
10月7日	鹿ノ台佐保保育園	4・5歳児	31	手話体験
10月19日	あすか野小学校	4年生	169	車いす体験
10月20日				
10月21日	ひがし保育園	3歳児	39	手話体験
10月21日	新旭ヶ丘燦々会	会員	18	地域でつながる軽スポーツ
10月25日	壱分小学校	5年生	137	アイマスク体験
10月26日	生駒台小学校	4年生	115	手話体験
10月26日	生駒東小学校	4年生	88	車いす体験
10月27日	真弓小学校	4年生	109	車いす体験
10月28日	壱分小学校	教職員	20	地域でつながる軽スポーツ
10月28日	生駒小学校	4年生	108	車いす体験
11月8日	真弓小学校	4年生	109	アイマスク体験
11月11日	鹿ノ台佐保保育園	4・5歳児	31	手話体験
11月11日	小平尾保育園	3・4・5歳児	41	手話体験
11月11日	生駒南第二小学校	4年生	40	点字体験
11月15日	生駒東小学校	4年生	88	点字体験
11月17日	あすか野小学校	4年生	169	点字体験
11月22日	壱分小学校	5年生	137	手話体験
11月30日	生駒台小学校	4年生	115	車いす体験
12月1日	俵口小学校	4年生	64	アイマスク体験
12月9日	生駒南中学校	1年生	43	車いす体験
12月9日	生駒南中学校	1年生	43	アイマスク体験
12月13日	生駒東小学校	4年生	88	手話体験
12月15日	生駒南小学校	3年生	64	アイマスク体験
12月21日	中保育園	5歳児	50	手話体験
12月21日	生駒台幼稚園	5歳児	56	車いす体験
1月13日	鹿ノ台小学校	4年生	98	車いす体験
1月13日	生駒南第二小学校	4年生	40	車いす体験
1月17日	桜ヶ丘小学校	4年生	113	アイマスク体験
1月19日	上中学校	2年生	203	車いす体験
1月20日	壱分幼稚園	4歳児	20	手話体験
1月20日	生駒南第二小学校	4年生	40	アイマスク体験
2月10日	鹿ノ台小学校	4年生	98	アイマスク体験
2月16日	壱分小学校	放課後子ども教室	38	地域でつながる軽スポーツ
合 計		55回	3,837	

イ 気になる会議の開催

制度の狭間や支援につなげていない「気になる方」「心配な方」について民生委員・児童委員や関係機関等を交えて意見交換会を開催した。

開催日 7月6日(水)
場 所 コミュニティセンター
内 容 地域住民と専門職を交えた意見交換会
参加者 24人

開催日 3月22日(水)
場 所 コミュニティセンター
講 師 NPO法人市民活動サークルえん 代表理事 磯野 太郎氏
演 題 「生駒のつながり・居場所づくりを考える」
参加者 10人

ウ 相談援助実習及び介護等体験実習生の受入れ

社会福祉教育の一環として、社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)に規定する社会福祉士等資格取得に必要な実習等の学生を受け入れた。

・ソーシャルワーク実習 2人

(6) ひとり親家庭支援事業

ひとり親家庭や生活に困窮する子育て世帯を中心とした親子に交流の場を提供するとともに、必要な生活相談ができるよう相談機関等の周知・啓発する機会として開催した。

実施日 10月29日
場 所 神戸市
内 容 神戸どうぶつ王国で親子で動物と触れ合い、北野工房のまちで手作り体験や神戸の食・雑貨を楽しむ。
参加者 35名

実施日 3月12日
場 所 コミュニティセンター
内 容 くもM先生の実験教室&サイエンスショー
「学びを遊びに」科学を学びながら親子で遊ぶ。
参加者 21名

(7) ふれあい援助事業

家事や介護等の日常生活に支障がある家庭に対しホームヘルパーを派遣した。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
派遣件数	20 件	19 件
派遣時間	34.5 時間	29 時間

(8) 車いすの一時貸出し

高齢者、身体障がい者等の外出援助のため、無料で車いすの貸出しを行った。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
車いす	86 台 (福祉センター36 台)	112 台 (福祉センター61 台)

(9) 善意銀行の運営

市民の皆様から善意の預託を受け、預託者の意思に従ってその指定先に払い出した。

預 託		払 出		払 出 先
件数	金 額	件数	金 額	
22 件	305,809 円	17 件	80,209 円	愛染寮、こども食堂
2 件	物品			

(10) 当事者組織の支援

身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会等の当事者の会と連携の強化及び連絡調整を図るとともに、福祉活動の強化に努めた。

(11) 社会福祉関係団体との連携強化

民生・児童委員連合会、老人クラブ連合会、保護司会、更生保護女性会をはじめ、身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会、手をつなぐ育成会、肢体不自由児・者父母の会、聴覚障害者協会、難聴者福祉協会、遺族会、介護者（家族）の会等と連携体制の強化及び連絡調整を図り、福祉活動の強化に努めた。

ア 生駒市民生・児童委員連合会事務局の運営

民生・児童委員連合会の事務局として、適切な運営を行った。

イ 生駒市老人クラブ連合会事務局の運営

老人クラブ連合会の事務局として、適切な運営を行った。

ウ 生駒市居宅介護支援事業者協会事務局の運営

居宅介護支援事業者協会の事務局として、適切な運営を行った。

エ 生駒市保護司会事務局の運営

保護司会の事務局として、適切な運営を行った。

オ 生駒市地区更生保護女性会事務局の運営

更生保護女性会事務局として、適切な運営を行った。

(12) 生活困窮者緊急支援事業

ア 緊急物品の支給

生活困窮者自立支援事業を利用するもののうち、緊急に支援が必要と認めるものに対して、緊急物品等の支給し、生活困窮者に充実した相談支援を行った。

年末年始食料 15世帯

就職に係る交通費 2件

イ パンの配布

市内事業者から廃棄するパンを活用してほしいとお申し出をいただき、生活福祉資金貸付を利用している子育て世帯に配布

年24回

(13) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

3 権利擁護活動の推進

(1) 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力が十分でない高齢者や障がい者の生活に関わる相談に応じ、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の支援を行う福祉サービス利用援助事業を推進した。

区分	令和4年度	令和3年度
相談援助件数	814件 (内新規相談 23件)	248件 (内新規相談 13件)
契約者数	30人 (内新規契約者 0人)	35人 (内新規契約者 3人)
生活支援員活動件数	427件	496件
生活支援員活動時間	395時間 00分	408時間 30分

ア 生活支援員交流会の開催

実施日 3月28日
場 所 生駒市福祉センター
内 容 ・「日常生活自立支援事業と生駒の現状について」
・グループワーク「生活支援員の活動について」
参加者 5人

(2) 権利擁護支援センターの運営及び権利擁護支援の推進

知的障がい、精神障がい、認知症により判断能力が十分でない者等に対し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを目的に、権利侵害及び権利行使に関する相談から支援まで総合的に行った。

区 分	令和4年度	令和3年度
成年後見制度利用 支援件数	27 件	20 件
上記のうち 申立に至った件数	(11 件)	(10 件)
日常生活自立支援 事業からの移行	(4 件)	(5 件)

ア 法人後見事業の実施

適切な成年後見人等がない場合に生駒市社会福祉協議会が成年後見人等に就任し必要な支援を行った。

受任件数 0 件

イ 専門相談窓口の設置

(ア) 生駒市権利擁護支援センター相談業務

専門相談員（社会福祉士）を配置し、必要な相談支援を行った。

区 分	令和4年度	令和3年度
電話相談 (メール、ファクス含む)	470 件	973 件
面談	57 件	90 件
訪問	90 件	180 件
合 計	617 件	1243 件

(イ) 成年後見制度無料相談会

リーガルサポート奈良支部会員の司法書士と権利擁護支援センターの職員（社会福祉士）による成年後見制度に関する相談会（毎月第3木曜日、予約制）を行った。

区 分	令和4年度	令和3年度
相談件数	31件	22件

(ウ) 高齢者及び障がい者のための無料法律相談

弁護士による、高齢者及び障がい者のための無料法律相談（毎月第2・4木曜日、予約制）を行った。

区 分	令和4年度	令和3年度
相談件数	33件	19件

(エ) 福祉関係機関向け専門相談

権利擁護支援センターの職員が相談を受け、弁護士への相談を行った。

区 分	令和4年度	令和3年度
相談件数	11件	4件

ウ 実務者連絡会の開催

実施日 10月11日
場 所 生駒市福祉センター
内 容 事例検討「成年後見制度の利用を検討する上でのポイントについて」
講 師 松本・板野法律事務所 弁護士 板野 陽一氏
参 加 者 15人

エ 権利擁護支援セミナーの開催

実施日 2月23日
場 所 コミュニティセンター
内 容 生きづらさを抱える子とご家族をまもる親なきあとの準備と制度
講 師 「親なきあとの相談を受ける中で感じていること
～今からできる我が家の親なきあと準備を考える～」
やまとみらい法律事務所 行政書士
あかるいみらい準備室 代表
山口 まゆみ氏

「先進地・岡山での取り組みから見えてくる生駒の未来図」

竹内法律事務所 弁護士

岡山高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク懇談会 代表

竹内 俊一氏

参加者 63人

オ 権利擁護支援出前講座

実施日 7月11日

内容 「成年後見制度について」

対象者 生駒市西地区民生児童委員協議会

実施日 8月23日

内容 「権利擁護支援センターの業務と申立て支援の事例」

対象者 社会福祉法人長命荘 相談支援部門

(3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

4 ボランティア活動の推進

(1) ボランティア活動保険の加入促進

受付区分	令和4年度	令和3年度
ボランティア活動保険	2,569人	2,492人
ボランティア行事保険	138件	124件
保険請求件数	8件	5件

(2) ボランティア活動普及事業協力校への支援

小・中学校及び高等学校の児童や生徒、学生を対象に、社会福祉に対する理解と関心を深めることを目的として、学校に対して助成を行った。

助成校 生駒小学校、生駒東小学校、壺分小学校、生駒南第二小学校、鹿ノ台小学校、生駒中学校、鹿ノ台中学校、光明中学校、生駒高等学校、奈良北高等学校

(3) 生駒市内のボランティア団体との連携

ア 生駒市社会福祉協議会ボランティアネットワークへの情報提供

民間助成金等の情報を13回配信した。

イ ボランティアネットワーク情報交換会の開催

実施日	11月7日
場所	コミュニティセンター
内容	①平素のボランティア活動の工夫等についてグループトーク ②手話体験
参加	6グループ7名
実施日	2月22日
場所	コミュニティセンター
内容	①社協の出前講座を活用し車いす体験 ②バリアマップを体験後グループトーク
参加	7グループ14名

(4) 福祉ボランティア団体の活動支援

誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進を目的として、福祉ボランティア団体に対して助成を行った。

助成団体 要約筆記いこま、幸楽ボランティア、手話サークルかしの木、手話サークルハーブ、音訳グループ生駒やまびこ、ひまわりの集い

(5) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

5 生活福祉資金等を活用した自立支援

低所得者、障がい者又は高齢者に対し、奈良県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業を活用した資金の貸付けと必要な援助指導等により、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加を促進した。

(1) 低所得者世帯等への支援活動

ア 生活福祉資金の貸付相談

民生委員・児童委員の協力を得て、低所得者、高齢者及び障がい者の世帯に生活福祉資金の貸付けを行い、経済的な自立と生活意欲の促進に努めた。

区分	令和4年度	令和3年度
相談件数	207件	711件

イ 貸付申請件数

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度	
	件数(件)	決定額(円)	件数(件)	決定額(円)
福祉資金				
・福祉費	1	500,000	0	0
・緊急小口資金	3	300,000	1	100,000
教育支援資金				
・教育支援費	5	1,845,000	11	13,797,000
・就学支度費	3	364,000	8	1,721,000
総合支援資金				
・生活支援費	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
不動産担保型生活資金				
・要保護世帯向け	0	0	0	0
合 計	12	3,009,000	20	15,618,000

(2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

6 災害時に向けた取組み

(1) 災害支援に関する学習・啓発活動

ア 災害時における連携・協働のあり方などについて考えることを目的とした災害ボランティア養成講座を開催した。

実施日 11月12日

場 所 図書会館

内 容 「あなたの気持ちを、復興の力に」

奈良県社会福祉協議会総合ボランティアセンター

参加者 22名

イ 災害ボランティアセンター設置訓練を行った。

実施日 11月26日

場 所 福祉センター

内 容 災害ボランティアセンターの受付から活動報告までの、災害ボランティア活動の一連の流れを体験

参加者 31名（ボランティア、社協職員、奈良県社協職員、生駒市職員）

(2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

7 生活困窮者自立相談支援事業の実施

経済的な問題のみならず、複合的な問題を抱えている生活困窮者に対して、生駒市くらしとしごと支援センターにおいて個別に対応し、困窮状態から早期に脱却することを支援する生活困窮者自立相談支援事業を推進した。

(1) 自立相談支援事業を行う生駒市くらしとしごと支援センターの運営

生活困窮者個々に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援体制を構築するために相談員を配置し総合的な支援を行った。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
支援件数合計	1,078 件	1,708 件
電話相談	(151 件)	(253 件)
訪問同行支援	(120 件)	(121 件)
面談支援	(807 件)	(1,060 件)
新規相談件数	(140 件)	(339 件)

ア 支援調整会議

生活困窮者の複合的な課題を整理し、課題解決のための支援プランについて関係機関と合同でケースの検討及び支援の決定を行った。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
開催数	12 回	12 回
検討ケース	20 件	10 件
プラン作成件数	38 件	43 件
評価	35 件	44 件

イ 就労支援

生活困窮者に対する就労支援を行った。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
支援対象者件数	46 件	127 件
就労開始件数	(20 件)	(24 件)

就労増収件数	(6 件)	(19 件)
--------	-------	--------

ウ サロンの開催

生活困窮者の居場所作りと、自己理解を深めるプログラムを実施し、社会参加の機会の提供に努めた。

実施回数	計 12 回
場 所	コミュニティセンター
内 容	個人で取組みが出来る箱庭、カード等を使ったワークや、コミュニケーションを取りながら課題を完成させるワークなどを取り入れ、個人の特性等の理解を深め、他者との関係性の構築のためのきっかけ作りとした。
講 師	Co-en 浜口 桂氏
参加者	33 人 (延べ)

(2) 住居確保給付金の相談

離職により生活に困って、住居を失った人、又は住居を失う恐れの高い人に対し、期限付きで家賃相当額を支給する間に安定した就職活動ができるように支援をおこなった。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
相談支援件数	126 件	190 件
申請件数	(16 件)	(23 件)

(3) 家計改善支援事業

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出した上で、家計の視点から必要な情報提供や、専門的な助言・指導等を行った。

ア 家計改善支援事業相談

生活困窮者からの相談に応じ、家計の問題を明らかにして生活の再生に向けたプランを作成し、家計を管理する力を高め、早期に家計が再生するための支援を行なった。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
相談支援件数	305 件	450 件

イ 無料家計相談会

奈良県司法書士会の司法書士と社協職員による家計再建等に関する相談会（毎月第2水曜日、予約制）を行った。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
相談件数	8 件	11 件

(4) 就労準備支援事業サポート業務

生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなど、複合的な課題があり既存の雇用施策の枠組みでは支援になじまない方に、一般就労に従事する準備としての基礎能力形成を計画的に一貫して支援するサポートを行った。

区 分	令和4年度
支援対象者件数	3人
支援プログラムの実施	14回
職場見学	0回

(5) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

8 福祉センターの円滑な管理及び運営

(1) 福祉センターの指定管理事業

社会福祉事業の推進、社会福祉活動の育成と市民のふれあいを図る活動拠点として、円滑な管理運営に努めた。

また、各種教室、軽スポーツ等を通して、障がい者の自立、生活意欲の向上及び生きがいづくりに努めた。

(単位:人)

利用区分	令和4年度	令和3年度
福祉団体	3,007	1,835
ボランティア団体	4,002	2,430
各種教室	3,684	2,374
市関係	582	587
手話関係	133	82
行 事	1,611	1,201
地域交流サロン	377	236
合 計	13,396	8,745

ア 福祉センターの管理及び運営

(ア) 各種教室

自宅に閉じこもりがちな障がい者や高齢者(60歳以上)の自立及び生きがい作りや交流活動の場として、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じたうえで各種教室を開講した。

教室名	令和4年度		令和3年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
やきもの教室 A	16	150	15	155
やきもの教室 B	16	209	14	150
水彩画教室	18	153	15	107
さをり織り教室	18	126	15	110
料理教室	6	40	中止	—
中国気功教室	18	300	15	194
たいそう教室	18	139	15	107
カラオケ教室 A	14	173	中止	—
カラオケ教室 B	16	218	中止	—
編み物教室	21	283	17	128
絵てがみ教室	20	140	17	134
手作りパン教室	6	43	中止	—
園芸教室	19	291	16	231
健康ヨガ教室	18	288	17	241
健康太極拳教室	21	373	16	245
フラダンス教室	19	344	17	220
パッチワーク教室	21	187	16	140
合計	285	3,457	205	2,162

短期教室名	令和4年度		令和3年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
アロマキャンドル教室	1	13	1	8
しめ縄アレンジメント教室	1	10	1	7
ストレッチ教室	12	174	11	151
七宝焼き教室	3	30	—	—
合計	17	227	19	207

(イ) 福祉センター祭

各種教室で学んだ成果を展示・発表する場として福祉センター祭を開催した。また、オープニングセレモニーとして童笑さんの和太鼓演奏や、福祉団体及び障がい者団体の協力によりバザーやお菓子の販売を行った。

開催日 3月10日 ～ 3月11日
来場者数 273人

(ウ) 各種行事

障がい者(児)とその家族、高齢者(60歳以上)を対象に、各種行事を実施した。

① 秋の日帰りバス旅行

障がい者（児）とその家族等を対象にバス旅行を実施した。

実施日 9月11日
場 所 東映太秦映画村（京都市）
参加者 61人

② レクリエーションゲーム大会

障がい者（児）とその家族を対象にレクリエーションを実施した。

実施日 1月22日
場 所 生駒市福祉センター
参加者 48人

③ 障がい者及び高齢者向けのスポーツ体験会

軽スポーツを通じて、障がい者や高齢者への理解を深めるため体験会を開催した。

モルック体験会	6月10日	20人
カローリング体験会	6月24日	20人
モルック体験会	9月 3日	20人
ボッチャ体験会	11月11日	27人
モルック体験会	11月22日	22人
モルック多世代交流会	3月4日	26人

(カ) ボランティア講習会

登録ボランティアに対し、障がい者及び高齢者理解を深めるため講習を実施した。

実施日 6月15日
場 所 生駒市福祉センター
内 容 避難所運営ゲーム
講 師 社協職員
参加者 17人

実施日 11月22日
場 所 生駒市図書会館 実習室
内 容 災害ボランティア養成講座
①災害ボランティアとは
②災害ボランティアセンターとは
③防災・減災に向けた備え
講 師 奈良県社会福祉協議会 総合ボランティアセンター 田中和博氏
参加者 15人

イ 意思疎通支援事業

(ア) 手話通訳者等設置

専任の手話通訳者を設置し、手話通訳者派遣のコーディネートを行うとともに、聴覚障がい者等の日常生活における様々な相談に応じた。

(イ) 手話通訳者派遣

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、手話通訳者を派遣した。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
派遣件数	243 件	204 件
派遣人数	303 人	249 人

(ウ) 要約筆記者派遣

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、要約筆記者を派遣した。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
派遣件数	48 件	48 件
派遣人数	117 人	103 人

ウ 社会参加支援事業

(ア) 点字及び声の広報の発行

視覚障がい者の社会参加・自立の一助として、「点字広報いこま いこまち」及び「声の広報いこま いこまち」を発行した。

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度	
	回数(回)	利用人数(人)	回数(回)	利用人数(人)
点字広報	12	36	12	36
声の広報	13	189	12	180

(イ) 各種講座

聴覚障がい者や視覚障がい者の社会参加におけるコミュニケーションを助ける技術を学ぶ講座を開催した。

講 座 名	令和4年度		令和3年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
手話奉仕員養成講座	44	494	24	327
聞こえのサポーター講座	0	0	7	47
点訳講習会	10	68	9	59
音訳講習会	6	85	6	75
合 計	60	647	46	508

(2) 福祉センター自主事業

ア 点字図書の貸出し

芥川賞・直木賞受賞作品の点字図書を配置し、視覚障がい者等に貸し出す環境を提供した。

区 分	令和4年度	令和3年度
利用件数	0 件	5 件
貸出数	0 冊	18 冊

イ 手話奉仕員スキルアップ研修

対 象 者 手話奉仕員養成講座を受講修了した手話サークル会員
 実施回数 5回
 参 加 者 38人

ウ はじめての手話講座

対 象 者 手話奉仕員養成講座（入門編）申込者で抽選の結果落選したもの
 実施回数 5回
 参 加 者 32人

エ 聴覚障がい者サロン（ふく mimi サロン）の運営支援

市内の聴覚障がい者の社会参加と仲間づくりの輪を広げ、いきいきと安心して暮らせることを目的に開催し、社会参加の機会の提供に努めた。

実施回数 計12回
 場 所 生駒市福祉センター
 内 容 ボランティアのサポートを受け、近隣公園のお花の撮影会、お花見、ゲーム（クイズやモルック）などを行った。
 参 加 者 135人（延べ）

(3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

9 地域包括支援センターの運営及び包括的支援事業の推進

高齢者の地域生活の支援のため、地域ネットワークづくりを推進するとともに、各種支援サービスを提供した。

(1) 地域包括支援センターの運営

高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を送るために、介護サービスを始め様々なサービスを包括的に受けられるよう、関係機関との調整等、高齢者を支える総合機関としての運営を行った。

ア 介護予防ケアマネジメント事業

総合事業対象者、要支援認定者に対し介護予防支援計画を作成した。

(単位:件)

区 分	令和4年度	令和3年
総合事業対象者	25	54
要支援1	117	147
要支援2	164	145
合 計	306	346

イ 総合的な相談支援事業

介護保険等様々な制度や地域資源との連携による相談及び支援を実施した。

区 分	令和4年度	令和3年度
相談件数	1,413件	1,157件

ウ 包括的かつ継続的ケアマネジメント事業

(ア) 介護支援専門員への助言・指導

包括的かつ継続的なケアマネジメントが行えるよう、地域のケアマネジャーに対し支援を行った。

	令和4年度	令和3年度
集団支援		
実施回数	13回	12回
参加者	232人	242人
個別支援		
相談・支援	28件	127件

(イ) 地域支援体制整備

地域のネットワークづくりのため、関係機関と連携を図った。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
連携件数	90 件	29 件
地域ケア会議	40 回	35 回

(2) 介護予防事業

ア 指定介護予防支援

要支援認定者に対し介護予防サービス計画を作成した。

(単位:件)

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
要支援 1	203	130
要支援 2	242	253
合 計	445	383

イ 高齢者介護予防事業(介護予防教室)

高齢者やその家族を対象に介護予防に関する知識及び技術の普及啓発を目的に、介護予防教室を実施した。

開催日	開催場所	人数(人)	内 容
6 月 17 日	西松ヶ丘集会所	13	・ひまわりの集い(地域出前型 生駒市健康づくり推進員連絡協議会) ・介護予防手帳についての説明
6 月 29 日	デイサービスセンター 幸楽	10	・ひまわりの集い(地域出前型 生駒市健康づくり推進員連絡協議会) ・介護予防、熱中症の予防についての説明
10 月 23 日	光陽台集会所	16	・高齢者の介護予防について ・認知症サポーター養成講座
11 月 11 日	西松ヶ丘集会所	18	・高齢者の介護予防について ・認知症サポーター養成講座
12 月 21 日	デイサービスセンター 幸楽	13	・認知症サポーター養成講座 ・認知症の予防としてのレクリエーション
3 月 20 日	北新町自治会館	30	・地域包括支援センターについての説明
	合計	100	

ウ 生活機能評価未返送者実態把握事業

市が郵送した「基本チェックリスト」の未返送者の実態等を把握するため、調査を行った。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
訪問支援件数	21 件	45 件

(3) 認知症地域支援推進員の配置

ア 認知症の人及び家族の支援として相談業務を行った。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
相談件数	593 件	458 件

イ 認知症サポーター養成講座等を開催した。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
回数	8 回	6 回
人数	305 人	226 人

(4) 第 2 層生活支援コーディネーターの配置

担当地域において、地域の集いの場への訪問や介護予防教室の実施・関係機関との連携を図り、現状把握やネットワーク構築に取り組んだ。

(5) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

10 デイサービスセンター幸楽の円滑な管理及び運営

利用者の多様化、複雑化する高齢者の介護及び予防並びに障がい者の生活ニーズに対応するとともに、自立支援に向けたサービス提供に努めた。

(1) 介護保険事業の運営

ア 要介護認定調査事業

市から介護保険認定調査事業を受託し、各地域において認定調査を行った。

(単位:件)

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
市 内	40		66	
他 市	0		0	

イ 居宅介護支援事業 (ケアプランの作成)

要介護認定者に対し、居宅サービス計画 (ケアプラン) を作成した。

(単位:件)

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護 1	519		448	
要介護 2	436		421	
要介護 3	146		176	
要介護 4	121		152	
要介護 5	35		47	
合 計	1,257		1,244	

ウ 訪問介護事業

要介護認定者に対し訪問介護員を派遣し、生活援助及び身体介護を行った。

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護 1	185	1075	140	870
要介護 2	122	734	106	723
要介護 3	31	321	35	319
要介護 4	34	220	38	198
要介護 5	23	120	12	62
合 計	395	2,470	331	2,172

エ 通所介護事業

要介護認定者を対象に、送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護 1	199	1,501	213	2,006
要介護 2	166	1,488	190	1,811
要介護 3	95	1,041	62	778

要介護 4	66	422	79	550
要介護 5	17	92	12	64
合 計	543	4,544	556	5,209

オ 介護予防訪問介護相当サービス・訪問型サービス A

総合事業対象者、要支援認定者に対し訪問介護員または生活支援員を派遣し、身体介護や生活援助を行った。

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
介護予防訪問介護相当サービス				
総合事業対象者	34	142	31	122
要支援 1	108	428	120	545
要支援 2	179	1,056	141	785
合 計	321	1,626	292	1,452
訪問型サービス A				
総合事業対象者	0	0	27	109
要支援 1	0	0	6	22
要支援 2	57	223	60	230
合 計	57	223	93	361

カ 介護予防通所介護相当サービス・通所型サービス A

総合事業対象者、要支援認定者を対象に、送迎、食事、入浴やマシンを使った運動プログラム等の通所サービスを行った。

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
介護予防通所介護相当サービス				
総合事業対象者	2	9	3	12
要支援 1	16	57	5	15
要支援 2	86	572	146	856
合 計	104	638	154	883
通所型サービス A				
総合事業対象者	86	289	78	272
要支援 1	26	95	26	84
要支援 2	22	73	22	79
合 計	134	457	126	435

キ パワーアップPLUS教室

専門職の指導によるマシンを使った運動や自宅で行う運動の個別指導を行い、短期間で元気な生活を取り戻すための教室を実施した。

区 分	令和4年度	令和3年度
参加延べ人数	1101人	1,358人
教室開催回数	185回	188回

(2) 障害福祉サービス事業の実施

ア 居宅介護（ホームヘルプ）・重度訪問介護

ホームヘルパーを派遣し、介護、家事等生活全般にわたる援助を行った。

区 分	令和4年度		令和3年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
居宅介護	48	343	52	358
重度訪問介護	0	0	0	0

イ 移動支援・同行援護・行動援護事業

障がい者が円滑に外出できるよう、移動支援、同行援護及び行動援護を行った。

区 分	令和4年度		令和3年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
同行援護事業	33	275	33	288
行動援護事業	4	5	4	4
移動支援事業	0	0	0	0

ウ 生活介護（デイサービス）

障がい者に送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	令和4年度	令和3年度
利用人数	36人	36人
回 数	215回	235回

(3) デイサービスセンター幸楽自主事業

ア はいせつ無料相談（ミニむつき庵いこま）

排泄に関する問題を抱えながら、適切な指導や助言を得られない方、また問題の存在

に気付かないまま過ごしている方に対し、面談や電話等での相談の対応を行った。

イ 要介護者及び家族交流事業 (salon de kouraku)

普段介護を行っている家族、社会的交流や役割などの獲得が必要な要支援者等に対して、毎月第3水曜日の10時から、情報交換やリフレッシュができる場を提供していたが、昨年度に続き実施を見合わせた。

(4) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

1.1 交通遺児奨学金の支給

交通災害により親等を失った高校生に交通遺児奨学金の支給を行う。

交通遺児奨学金支給者 0人

